

ラダーゲッタールール

資料:日本レクリエーション協会

常総市社会福祉協議会

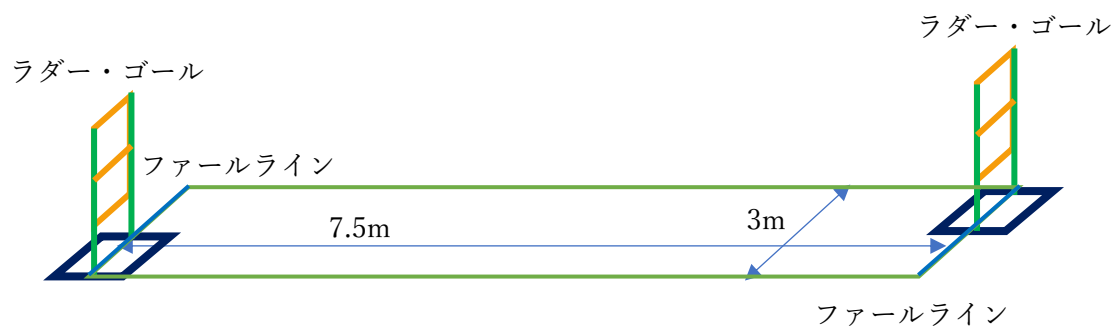
ラダーゲッターは、ヒモでつながっている2個のボールをラダー(はしご)に向かって投げ、ボールがラダーに引っ掛かる(ハングする)と得点になるゲームです。ルールはとても簡単なので、投げるコツをつかめば、三世代交流なども可能なスポーツ・レクリエーションです。

【用 具】(フルセットの場合)

- ・本体: 2組(幅61cm、奥行き68cm、高さ100cm、重さ1組2kg、ポリ塩化ビニール製)
- ・得点版: 幅40cm、高さ20cm、プラスチック製
- ・専用ボール: 12個(黄6, 青6)直径4.2cm、スポンジ製、ロープ部分はナイロン製
- ・収納袋: 幅103cm、高さ66cm、マチ16cm、ナイロン製

【コート】(基本)

- ・7.5mの間隔を取り、3mのラインを平行に引きます。
- ・図のように、ラインの端に、本体(ラダー)の中央部をラインにあわせておきます。

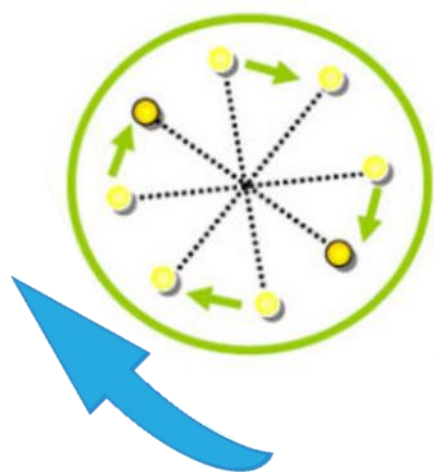


【プレーの基本】

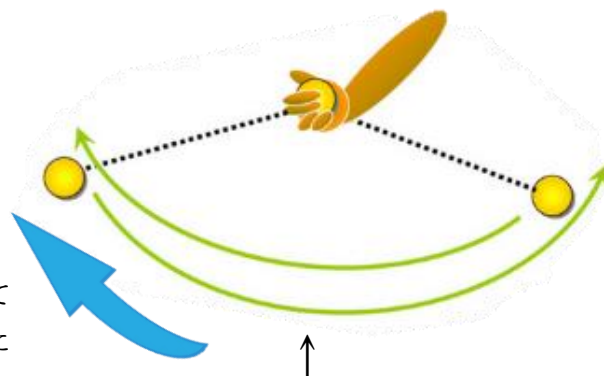
- プレーヤーは、同じ色のボールを3つ使用します。
- プレーヤーはファールラインの後ろから、7.5m離れたラダーに向かってボールを投げます。
- ボールを投げるときは必ずボールを持ち、アンダースローとします。
- ボールの位置をずらすことはできますが、ロープ部分を結ぶなどの加工はできません。
- ボールがうまくラダーにハングすれば、ポイントを得られます。

*ボールが床に落ちてしまったり、他のプレーヤーによってはじかれてしまった場合は、ポイントになりません。

- 投げるときは片方のボールを持ち、もう片方のボールを垂らした状態で、前後にゆっくりスイングします。
- 狙いのラダーに、スイングしているボールの先端が向いていることを確認します。
- 狙いのラダーに、スイングしている振り子の反動をうまく使いラダーに向かって投げます。
- そうするとボールは後方回転しながら山なりに飛んでいきます。



遠心力がかかっている
ので前方向に
飛んでいきます



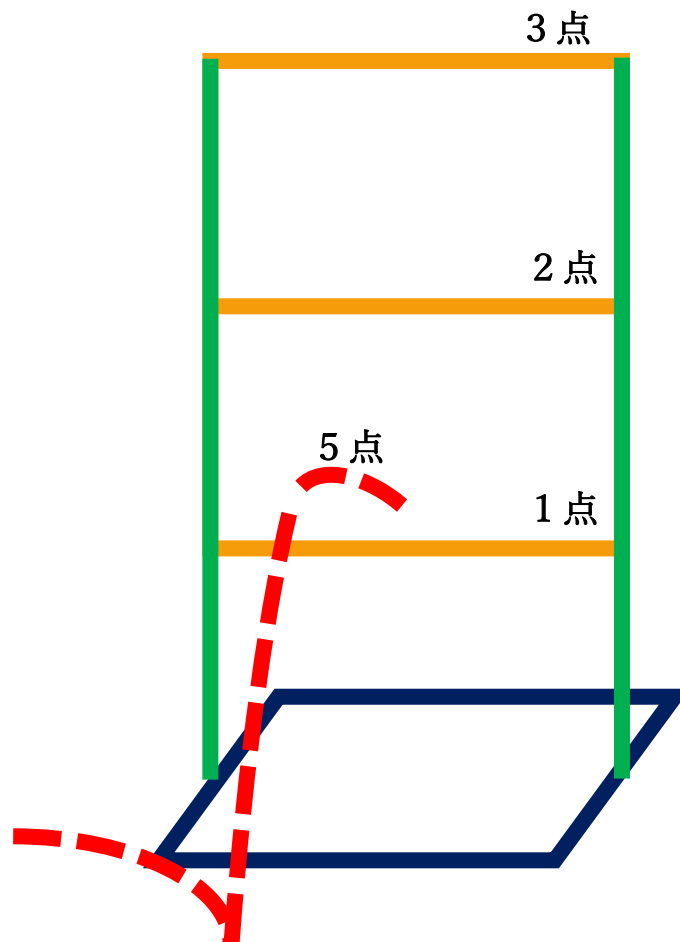
2, 3回スイング後、
このあたりで手をはなす

← ラダーのある方向

【得 点】

- 一番上のラダーにボールがハングする：3点
- 真ん中のラダーにボールがハングする：2点
- 一番下のラダーにボールがハングする：1点
- ラダー手前の床や地面にバウンドしていずれかのラダーにボールがハングする*：5点

*バウンドした場合の得点は、どのラダーにハングしても5点。
(床や地面の材質などによってバウンドが異なるため)



- * 投げる順番を事前に決めておくと判定しやすくなります。
青・黄それぞれヒモの色で3色ずつ持ちます。
ヒモの色はピンク・白・黄色です。(球の根本に赤・白・黄色のビニールテープも貼ってあります。)

【勝 敗】

- 1 試合 5 セットマッチとし、3 セット先取したプレーヤーが勝者となります。
- 1 セットは、21 点先取したプレーヤーが勝者となります。ただし、ぴったり 21 点で終わる必要があります。
- 先攻プレーヤーと後攻プレーヤーが同じラウンドで同時に 21 点を獲得した場合は、次のラウンド終了時に得点の高かったプレーヤーがそのセットの勝者となります。

*セットは勝敗が決まった状態、ラウンドは全てのボールが投げ終わった状態（放棄したボールは除く）。

【プレーする上での注意事項】

- ゲーム中に誤った投球で人を傷つけないように安全には充分配慮して行ってください。
- 幼児や小学校低学年などがプレーする時には、必ず大人が付き添い、安全な状況下でプレーをさせるようお願いいたします。
- ボールが予想外の方向に飛ぶことがあります。ボールを投げる方向や、ボールを投げるプレーヤーのそばには近寄らないようにしてください。
- プレーヤーは周りに人がいないことを確認してから投球するようにしましょう。また、ボールはラダーに届く力で、必ず下手投げ（アンダースロー）で行うようにしてください。
- プレーする前には、ボールをつないでいるヒモの結び目を必ずチェックしてください。ボールを投げた時、ヒモの結び目がほどけると高速で飛んでしまう恐れがあり危険です。
- 硬い地面（コンクリート、アスファルトなど）で遊ぶ場合、ボールが跳ね返ってケガをする危険性があります。十分に気をつけて行ってください。

【ゲームの進め方】


シングルス戦・・・1人対1人

- ・順番(先攻/後攻)を決めます。ジャンケンで勝った方が先攻か後攻かを選べます。(基本は、後攻を選んだ方が優位のケースがあります。)
- ・両者は一つの同じラダーに向かってボールを投げます。まずは、先攻のプレイヤーが手持ちの3つのボールを1つずつ連続で全て投げます。
- ・先攻のプレイヤーが3つのボールを投げ終わったら、後攻のプレイヤーが同じく3つのボールを連続で投げます。ここまでが1ラウンドとなります。
- ・1ラウンドが終わったら、それぞれ合計ポイントを計算し2ラウンドに移ります。この時2ラウンドで先攻となるのは、1ラウンド終了時の合計ポイントが高かったプレイヤーとなります。

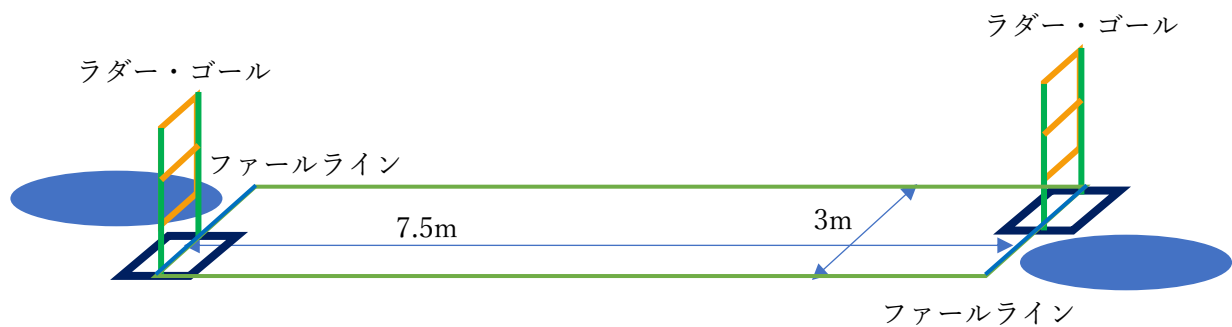
*2ラウンド以降は、常に前のラウンドの合計ポイントが高かったプレイヤーが先攻です。1ラウンド終了時に同点だった場合は、先攻後攻は変わりません。

- ・ゲームを進めていき、どちらか先に21点先取したら終了となります。
 - *これが1セットとなります。
- ・この時、次のセットの先攻は、前のセットでの勝者となります。
- ・先に3セット取ったプレイヤーの勝ちとなります。

ダブルス(ペア)戦・・・2人対2人

- ・まずは、シングルス戦と同じように先攻/後攻を決めます。
- ・両ペアそれぞれ対面するファールラインの外側に分かれます。
(次ページ図  部分)
- ・先攻ペアがそれぞれ反対側のラダー・ゴールに向かってボールを1つずつ(計6つ)投げます。
 - *投げる順番は、対面に分かれた先攻ペア同士で、さらに先投げと後投げを決め、1つずつ交互にそれぞれ3つ(計6つ)のボールを投げます。
- ・先攻ペアが全てのボールを投げ終わったら、同様に後攻ペアが投げます。両ペアが全てのボールを投げ終わり、どちらも21点に達していない場合は、それぞれのコートを移動し勝負がつくまでラウンドを続けます。*ラウンドごとに、コートチェンジをします。

- ・その際、前のラウンド終了時点での合計得点が高かったペアが、次のラウンドで先攻になります。
- ・前のラウンドで同点だった場合は、シングルス戦と同様です。
- ・ペアの投げる順番(先投げ、後投げ)は変わりません。
- ・勝負がついて次のセットを開始するとき、前のラウンドで負けたペアは先投げと後投げの投げる順番を交代します。
- ・先に3セット取ったペアの勝ちとなります。



シングルス戦とダブルス(ペア)戦のほかにスピードラダーゲッターという遊び方もあります。

【こんなときは・・・？】

Q 21点をオーバーさせてしまったボールはどうするの？

A オーバーさせてしまったボールは、対戦するプレーヤーが投球する前に取り除きます。ただし、あくまでもオーバーさせてしまったボールのみです。

Q 21点取った時に手元にボールが残っている場合は？

A 手元に残っているボールは全て破棄します。また、21点をオーバーさせてしまった場合も同様です。

Q 壁や天井に当たった後にラダーに引っ掛かった場合は？

A 無効となります。その場合は取り外します。あくまでも直接か手前でバウンドしたボールのみ有効となります。

Q サイドの縦パイプに引っ掛かった場合は？

A 得点となります。3点と2点の間の縦パイプは2点、2点と1点の間は1点となります。ただし、1点と地面の間の縦パイプは得点になりません。

Q 何回もバウンドして引っ掛かった場合は？

A ラダーの手前にバウンドして引っ掛かったボールは、バウンドの回数に関係なく全て得点(5点)になります。

Q バウンドして3点のラダーに引っ掛かった場合は？

A どのラダーに引っ掛かっても、バウンドしてから引っ掛かったものは全て5点です。

Q 投げ方は、アンダースロー以外はダメなの？

A 安全性を考慮し、ラダーゲッターの場合は全てアンダースローで投げることにします。ただし、一方のボールをもってスイングして投げる方法だけでなく、ボールの位置をヒモの中央部分にずらして投げたり、両方のボールをもって投げるのも可能です。ただし、必ずボールを持って投げる必要があります。

*ヒモを持って投げるのはアウトとなります。

- Q ラダーに引っ掛かっている自分のボールをはじき落とした場合は？
- A 自分のボールでも、その点数は無効となります。また、3点に引っ掛かっていたボールが、落とされ2点のラダーに引っ掛かった場合は、得点が2点に変更になります。ただし、バウンドして3点のラダーに引っかかっていたボール(得点は5点)が落下し2点のラダーに引っ掛かった場合は5点のままです。しかし、地面に落ちてしまったボールは0点となります。
- Q ラダーではなく、ラダーに引っ掛かっているボールに、投げたボールが絡んでしまった場合は？
- A 得点になりません。あくまでも、ラダーやサイドのパイプに引っ掛かった場合のみ、得点になります。
- Q ダブルス(ペア)戦の場合、先投げ、後投げ含めて計6回続けて投げるが、先投げが投げて、21点をオーバーした場合、投げる順番はどうなる？
- A ダブルス(ペア)戦に限らず、21点以上得点をとった時点で、残りのボールは破棄します。
- Q プレー中に地面に落ちているボールは？
- A ラウンドが終了するまでそのままにします。ラダーの手前はその周りの地面に落ちているボールによって対戦者のバウンドプレーを妨害する可能性もあります。作戦的な効果もありますので、ラウンドが終了するまで地面に落ちているボールは拾わないようにしましょう。